

別紙1 事務事業評価(中間評価)シート【令和5年度】

主管課名(担当名)	教育総務課(学校教育担当)			
事務事業名	適応指導教室運営経費	事業番号	326	
重点プロジェクト	■該当 □非該当	評価時期	■中間 □事後	事務区分 ■自治 □法定受託

1 施策体系

施策体系との関連	施策区分	3-4 特別支援教育の充実
	施策目標	子どもたち一人ひとりの教育ニーズに応じた特別支援教育が受けられるまち

2 事務事業の概要と目的

対 象	事務や事業が対象としている人や団体など	児童生徒、保護者
	対象者の今後の予想	同程度～増加
活動内容 (事業の概要や具体的な内容、方法など)	根室市適応指導教室「ふれあいくらぶ弥生」において指導員と不登校児童生徒との信頼関係を構築し、生活の立ち直りの支援を行うことや、体験活動や集団活動を通じて、興味関心を広げ、対人関係の改善を図る。	
意 図 (どのような成果を得ようとしているのか)	不登校児童生徒の一日も早い学校への復帰を支援する。	

3 事務事業の現状

活動指標名		計画値 (H27)	実績値					目標値 (R2)	目標値 (R7)
			R1	R2	R3	R4	R5		
1	適応指導教室から学校復帰できた児童生徒の割合	50.0%	10.0%	0.0%	20.0%	30.0%	12.5%	70.0%	80.0%
2									
3									
4									
事業費（＝下記内訳計）			R5予算		R5決算		R6予算		
			2,470		2,221		3,140		
内 訳	国庫支出金								
	地方債								
	その他		5		11		16		
	一般財源		2,465		2,210		3,124		
人員(人工)									
職員人件費（＝人員(人工)× 7,455 千円）			0		0		0		
総事業費（＝事業費＋職員人件費）			2,470		2,221		3,140		
単位コスト実績値 1（＝総事業費÷成果実績値）			197		177				
単位コスト実績値 2（＝総事業費÷成果実績値）									

4 事務事業の見直し状況や行政課題など

(事前評価にかかげた課題について記入)

見直し状況	☐ 検討中 ☐ 見直し・改善済み ☐ 見直しをしたが改善に至っていない ☒ 検討していない
見直しの内容など	
今後の動向・市民ニーズなど	児童生徒が教育を受ける権利を保障するために必要である。また、近年、小中学校における不登校児童生徒数が増加傾向にあり、当該児童生徒への支援を図る上でニーズは高い。

5 事務事業の評価

	☒ 結びついている ☐ 一部結びついている ☐ 結びついていない
ア. 意図する成果に有効に結びついていますか	適応指導教室での指導や在籍校による出前授業により社会とのつながりを保ち、学校復帰への足掛かりとなっている。
イ. 市以外がその事業に取り組むことは可能ですか(民間、NPO等)	☐ 可能 ☒ 一部可能 ☐ 不可能 公的機関に通うことが困難な場合で本人や保護者の希望もあり児童生徒にとって適切であると、校長及び教育委員会が適切と判断した場合は民間、NPO等の活用が可能であるが、不登校となる背景には、「いじめ」や「障がい」等の問題が起因する場合もあり、組織的な対応が必要である。
ウ. 事業内容の中で、見直しを行う必要はありますか	☐ ある ☐ 一部ある ☒ ない 適応指導教室の運営については、現状どおり継続するが、適応指導教室に通っていない児童生徒への支援策については、別途検討する必要がある。
エ. 単位コストまたは事業費を工夫できるアイデアはありますか	☐ ある ☐ 一部ある ☒ ない 恒常的に開設する必要がある、事業費のほとんどは人件費である。
オ. 他の事業との統合について可能性はありますか	☐ ある ☐ 一部ある ☒ ない 青少年相談室や各学校との連携は重要であるものの、事業統合は難しい。
カ. 受益者に負担をいただく(又は負担を見直す)可能性はありますか	☐ ある ☐ 検討の必要性がある ☒ ない ☐ 既に負担がある 義務教育に係る経費であり、負担を求めるのは適当ではない。

6 事務事業の今後の方向性

今後の方向性	☒ 現状のまま継続 ☐ 見直しのうえで継続 (☐ 拡充 ☐ 手段を見直す ☐ 効率化 ☐ 簡素化 ☐ 統合・振替) ☐ 終期設定あり (R 年度末終了予定) ☐ 休止 ☐ 廃止 ☐ 完了
--------	--

作成年月日

令和6年9月

別紙1 事務事業評価(中間評価)シート【令和5年度】

主管課名(担当名)		教育総務課(学校教育担当)			
事務事業名		特別支援教育推進事業		事業番号	12485
重点プロジェクト	■該当 □非該当	評価時期	■中間 □事後	事務区分	■自治 □法定受託

1 施策体系

施策体系との関連	施策区分	3-4 特別支援教育の充実
	施策目標	子どもたち一人ひとりの教育ニーズに応じた特別支援教育が受けられるまち

2 事務事業の概要と目的

対 象	事務や事業が対象としている人や団体など	支援を要する児童生徒及び保護者
	対象者の今後の予想	増加傾向
活動内容 (事業の概要や具体的な内容、方法など)	特別な支援を必要とする子どもたち一人ひとりの教育ニーズを把握し、生涯にわたる一貫した支援を実現するため、教育・保健・福祉等の各分野をつなぐ役割を担うことを目的として、子育てファイル「りんくす・ねむろ」の配布、教育相談室りんくすの開設及び特別支援教育専門員を配置する。	
意 図 (どの様な成果を得ようとしているのか)	一人ひとりのニーズを正確に把握し、その子に合った教育を提供し、子どもたちが地域で生活し、自分らしく自立して社会参加をできるようにする。	

3 事務事業の現状

活動指標名		計画値 (H27)	実績値					目標値 (R2)	目標値 (R7)
			R1	R2	R3	R4	R5		
1	子育てファイルりんくす・ねむろの配布率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
2	教育相談室の利用者数	20件	44件	53件	58件	57件	58件	40件	50件
3	特別支援教育に関する研修会の開催回数	3回	2回	2回	2回	0回	2回	3回	3回
4	特別支援教育支援員の配置人数	7人	12人	12人	14人	15人	15人	11人	11人
事業費（＝下記内訳計）				R5予算		R5決算		R6予算	
				58,655		55,626		67,021	
内 訳	国庫支出金								
	地方債								
	その他				121		278		167
	一般財源				58,534		55,348		66,854
人員(人工)				0.08		0.08		0.08	
職員人件費（＝人員(人工)× 7,455 千円）				596		596		596	
総事業費（＝事業費＋職員人件費）				59,251		56,222		67,617	
単位コスト実績値 1（＝総事業費÷成果実績値）				592		562			
単位コスト実績値 2（＝総事業費÷成果実績値）				1,021		969			
単位コスト実績値 3（＝総事業費÷成果実績値）				2,962		28,111			
単位コスト実績値 4（＝総事業費÷成果実績値）				3,950		3,748			

4 事務事業の見直し状況や行政課題など

(事前評価にかかげた課題について記入)

見直し状況	☐ 検討中 ☒ 見直し・改善済み ☐ 見直しをしたが改善に至っていない ☐ 検討していない
見直しの内容など	教育支援計画ファイル「りんくす・ねむろ」の利活用促進に向けた様式等の改訂、母子手帳アプリと連携した取組の充実等
今後の動向・市民ニーズなど	根室の子どもたちの成長を、関係課等が連携することにより、切れ目無く一貫した支援をすることや、教育相談等により保護者の不安や悩みが解消されることから、ニーズは高い。

5 事務事業の評価

ア. 意図する成果に有効に結びついていますか	☒ 結びついている ☐ 一部結びついている ☐ 結びついていない 全体的子どもたちに対して一貫した支援の充実を図るうえで、関係課との連携や義務教育課程におけるきめ細やかな教育支援は極めて重要であり、本事業の有効性は高い。
イ. 市以外がその事業に取り組むことは可能ですか(民間、NPO等)	☐ 可能 ☐ 一部可能 ☒ 不可能 教育・福祉・保健などの緊密な連携が必要であることから、市などの行政機関以外での実施は困難。
ウ. 事業内容の中で、見直しを行う必要はありますか	☐ ある ☒ 一部ある ☐ ない 教育支援計画ファイル「りんくす・ねむろ」の利活用促進に向けて、関係機関との更なる連携強化を図る。
エ. 単位コストまたは事業費を工夫できるアイデアはありますか	☐ ある ☐ 一部ある ☒ ない 主な事業費が人件費のため。
オ. 他の事業との統合について可能性がありますか	☐ ある ☐ 一部ある ☒ ない 教育・保健・福祉の各分野において、それぞれの立場で横断的に連携して取り組む必要があり統合は難しい。
カ. 受益者に負担をいただく(又は負担を見直す)可能性はありますか	☐ ある ☐ 検討の必要性がある ☒ ない ☐ 既に負担がある 子育て支援ファイルの配布及び相談業務は無料で実施しており、現状では負担を求めない。

6 事務事業の今後の方向性

今後の方向性	☒ 現状のまま継続 ☐ 見直しのうえで継続 (☐ 拡充 ☐ 手段を見直す ☐ 効率化 ☐ 簡素化 ☐ 統合・振替) ☐ 終期設定あり (R 年度末終了予定) ☐ 休止 ☐ 廃止 ☐ 完了
--------	---

作成年月日

令和6年9月